



キャンパス・コンソーシアム函館

合同公開講座

函館学 202

第1回講義

講義資料

医療・福祉を支えるA T技術

講師：浜 克己

函館工業高等専門学校教授

日時：令和3年7月31日（土）

13：30～15：00

会場：函館工業高等専門学校

主催：キャンパス・コンソーシアム函館



キャンパス・コンソーシアム函館

浜 克己 (はま かつみ)

函館工業高等専門学校 教授

博士(工学)、シニア教育士(工学・技術)

専門分野

知能機械工学 福祉工学

講師略歴

- 1978年 函館工業高等専門学校機械工学科卒業
- 1982年 長岡技術科学大学大学院機械システム工学専攻修士課程修了
- 1982年 横河電機株式会社
- 1985年 函館工業高等専門学校 助手 機械工学科
- 2003年 函館工業高等専門学校 教授 機械工学科
- 2013年 函館工業高等専門学校 教授 生産システム工学科

学会・各種委員会活動

- 日本機械学会
- 精密工学会 2020年度北海道支部支部長
- 計測自動制御学会
- 日本ロボット学会
- 日本福祉工学会
- 日本工学教育学会
- 函館市IoT推進ラボ, はこだて未来AIビジョン等の委員

医療・福祉を支えるAT技術

アシスティブテクノロジー（以下AT）は、医療や福祉の分野に対して工学技術を応用し、社会的弱者に対する支援を行う技術（支援技術）ですが、支援機器そのものではなく、支援機器を提供する支援サービスを含んだ幅広い概念として、今後社会的弱者がますます増加すると考えられる現状においては、介護者の支援も含めたより一層の技術開発が求められています。

本講演では、医療福祉と工学との関係やその取り組みとして、支援機器の簡単な開発事例も交えながら、医療福祉分野におけるATの役割や必要性、さらにはこの分野を支える人材育成等について紹介いたします。

また、これまでのATは、障害者に寄り添うものづくりが中心でしたが、現在高専機構のGEAR事業として取り組んでいる「介護・医工分野」では、障害者のワークスタイルやライフスタイルの変革の支援も含め、空間全体をつくっていくことを目指しています。この事業では、障害者就労、医療リハビリ、健康寿命延伸等を支援するための社会実装や技術者育成を目的としており、それらについての話題提供もいたします。